

『これからの5年を考える』

五十市地区社会福祉協議会 会長 福丸 良秋

本協議会設立当初からの広報紙「あゆみ」から「**あ**んしんで**ゆ**めひろがる**み**んなのふくし」を今回の活動計画のスローガンにしました。地域が一体となって、これからも誰もが安心して暮らせる五十市地区を目指して「あゆみ」続けていきたいと思います。

五十市地区社協 これからも続けていきたい活動

ふれあい訪問事業

一人暮らし高齢者世帯へ、自治公民館長や民生委員と一緒に訪問活動を行っています。これまでは「ふれあい交流のつどい」として事業を行っていましたが、コロナウイルスの影響を受けて訪問型へと変更しました。今後は、高齢者の課題把握のため、対象者を広げたり、内容を充実させたりしていきます。



おじいちゃんクッキング

男性料理教室として、毎月1回行っています。参加者の方々はとても楽しみにされており、料理のスキルだけでなく月に1回の居場所にもなっているようです。現在は、五十市地区公民館で実施しており、今町は年に1回のみ開催ですが、今町でも定期的に実施できるよう取り組みます。



学習支援事業

五十市地区では、中学3年生を対象とした「いそいち Study Room 土曜の朝」と、今町小学校全学年を対象とした「今町っ子まなび館」の2つの学習支援事業を行っています。令和2年度はどちらもコロナウイルスの影響により実施できませんでしたが、次年度からは工夫しながら再開していく予定です。



子育てサロンピヨピヨひろば

現在、民生委員の皆さんにご協力をいただきながら、毎月第4土曜日に実施しています。季節のイベントを取り入れて楽しんでもらえるサロンを計画しています。今後は、内容をさらに充実させたり、周知方法を検討し直したりすることで多くの参加者に来ていただける子育てサロンにしていきたいです。



五十市地区スローガン

あんしんで **ゆ**めひろがる **み**んなのふくし

【基礎情報】(R2. 5. 1)

人口規模 (住基人口)	全 体	17,183 人	世帯数	8,453 世帯
	男 性	8,200 人	自治公民館加入世帯	4,059 世帯
	女 性	8,983 人	自治公民館加入率	48.0%

【五十市地区の現状と課題】計画策定作業と「地域福祉に関するアンケート調査」結果より

○新型コロナウイルスによる変化

- ・気軽に茶饮みなどができなくなったため、コミュニケーションを取りづらくなった
- ・公民館活動も人を減らして掃除などを行うため、人と会わなくなった
- ・人と話すことが減るため、うつ気味になっている高齢者が多く、認知症の相談にもつながっている

○運転免許証の返納

- ・通院が難しくなるので、バス停がある病院や送迎ができる病院に変えざるを得ない
- ・病院はいくつもに行っている人が多く、ほとんどがタクシーを利用している

○公民館未加入問題

- ・地域がバラバラになっているのを感じる
- ・今後、高齢者クラブや子ども会がなくなってしまったらどのように地域活動を行っていけばいいか

○ゴミ出しについて

- ・ゴミ出しに困っている人は意外と聞かない。子どもや近所の人同士で助け合いができていないのではないか
- ・現在は困っていなくても、運転免許証の返納などで今後困ることは考えられる
- ・狐塚自治公民館は、副館長が軽トラでゴミ収集日に地区内を回り、ゴミを集めている

○五十市中学校のボランティアについて

- ・令和2年度より、「ボランティア委員会」が立ち上がり、1～3年生で120名程度が登録している
- ・中学生を対象に、自分たちがいまできるボランティアを挙げてもらったところ、ゴミ出しや収集活動、自分の特技を生かした創作活動などが挙げられた

五十市地区地域福祉活動計画

(計画実施期間・令和3年度～令和7年度)

計画スローガン (大項目)

㊦ んしんで ㊧ めひろがる ㊨ んなのふくし

中項目	小項目	具体的な取り組み内容
1 小地域（自治公民館単位）での福祉活動の充実と関係機関団体との連携協働できる地域づくりを目指します (地域づくり)	1 - ①関係機関で協働して高齢者の課題把握や支援に努めます	継続)・公民館長と民生委員、生活支援コーディネーターでふれあい訪問を実施 継続)・各自治公民館で実施しているいたつみろかいの推進 継続)・おじいちゃんクッキングの継続実施 新規)・おじいちゃんクッキングを今町でも定期的に実施
	1 - ②子どもへの支援や学校との連携に努めます	継続)・子育てサロンの充実 継続)・今町小学校、五十市中学校を対象とした学習支援事業 新規)・五十市小学校を対象とした学習支援事業の実施
	1 - ③生活支援コーディネーターの活動をさらに充実させていきます	継続)・意見交換会の実施 継続)・訪問に同行することによって地域内の課題の把握につなげる 新規)・ニーズに基づいた新たなサービス、支えあいのしくみの創出
	1 - ④これまで取り組んできた事業をさらに充実させていきます	継続)・在宅介護者のつどいを広く周知する
2 多世代の人材育成のため事業を充実していきます (人づくり・つながりづくり)	2 - ①地区内での人材確保に努めます	継続)・生活おたすけサービスにおける生活援助員の募集 新規)・日常生活支援事業の生活支援員の募集 新規)・地域で支え手となりうる人材調査と育成
	2 - ②よりよい五十市地区になるよう研修の機会を増やします	継続)・先進地視察研修 新規)・公民館長と民生委員の合同研修を開催
3 様々な関係機関・団体が協議できる場づくりに取り組みます (協議の場づくり)	3 - ①地区内の関係機関・団体の連携を図ります	新規)・地域福祉座談会を自治公民館単位で実施 新規)・福祉施設などの関係機関との意見交換会
4 地域住民の困りごとに対応できる組織体制づくりを目指します (しくみ・体制づくり)	4 - ①地区社協の広報活動を強化します	継続)・広報紙（あゆみ）の発行回数を年1回から年2回へ増やす 継続)・ふれあい訪問事業などを通して地区社協を広報する